

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2019年2月13日

事業所名 つぼみ園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・保護者より「園庭が狭く、自転車等が危ない」とあり、遊具の設定や自転車での遊ぶ場所の見直しを行った。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		・職員配置は、園児4人に対して保育士1人の配置が義務付けられているが、それ以上の配置を心がけている。	・保護者より、「年齢ごとのクラスが欲しい」との意見があったが、療育や集団での意味を保護者にも周知していきたい。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・生活空間の設定は、子どもたちの導線に沿っての配置とし、設備はスロープや点字ブロックなど設置されている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・生活空間は、毎日の清掃や定期的な清掃を行っている。また、子どもたちの生活空間の設定にも気を配っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・日々の職員会議や、全職員参加の月1回の全体会議・年3回の総括会議を行い、振り返りや目標設定を行っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・今回の保護者評価により、職員間での保護者の意向を把握し、業務改善につなげていきたい。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・今年度より実施。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		・第三者評価に関しては、今後検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・県外での研修2回、県内研修、法人内研修、園内研修の機会を月1回以上実施。地域の保育所への研修も行っている。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		・グループでの個人別会議や発達相談、ケース検討会を持ち客観的な分析と計画作成をしている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・法人内で統一されたアセスメントツールを利用している。	
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・発達の状況をふまえ、保護者を交えた支援者会議を行い、具体的な支援内容を設定している。	
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・豊かな成長発達を促すため、日々の保育内容を工夫し、体育館でのリズムやスイミングを行うほか、行事への取り組みや観劇や演奏会など、充実した保育内容としている。	
	16	(放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか				
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか		○	・集団活動の中での横への広がりや土台となるため、集団活動の中で個別な指導を行っている。	
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・朝礼の時に一日のプログラムの確認を行い、グループごとの話し合いも実施している。	

	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>		・保育終了後、反省会を行い振り返りを行っている。	
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>		・日々の保育日誌やグループノートを作成している。	
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>		・定期的に発達相談やモニタリングの機会を設け、計画についての見直しを行っている。	
	22	(放課後等デイサービスのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	<input type="radio"/>		・園長・副園長が参加している。	
	24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	<input type="radio"/>		・年2回の発達相談で支援会議を開催し、支援計画の見直しを行っている。	
	25	(放課後等デイサービスのみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか				
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	<input type="radio"/>		・移行検討の機会として、見学・体験を実施し、保育士が同行している。また、転園決定後には、保護者同意のもと、情報共有・相互理解の機会を設けている。	
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	<input type="radio"/>		・小学校や特別支援学校からの見学受け入れを行い、支援内容の情報共有と相互理解の機会としている。	
	30	(放課後等デイサービスのみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				
	31	(放課後等デイサービスのみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				
	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	<input type="radio"/>		・同法人内や県内の他の事業・センターとの連絡会への参加で交流や連携、研修会などの機会を設けている。	
	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	<input type="radio"/>		・職員の研修などの機会に交流することがあるが、児は交流の機会はない。	・児は交流の機会はないが、保護者のニーズも踏まえ検討をしていきたい。
34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	<input type="radio"/>		・自立支援協議会の子ども部会・子育て会議に出席している。		
35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	<input type="radio"/>		・連絡ノートを活用し、伝え合いを行う他、随時子どもの姿についての話し合いを行っている。	・就労や他の理由から送迎利用も増えている。連絡帳や電話での対応もあり、今後の課題となる。	
36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	<input type="radio"/>		・年間10回保護者教室を開催している他、グループや個人懇談など、伝える機会を持っている。		
37	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	<input type="radio"/>		・入園前に説明会を実施して、説明を行っている。		

保護者への説明責任等	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	○		
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・年2回の相談の機会その他、グループ懇談や個人懇談を実施している。 ・「もう少し先生と話をしたい」と保護者の希望があり、日々の送迎の時などにも話しやすい状況を作していきたい。
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・月1回の四役会議の開催や県内の11園交流会への出席。他行事等での連携を行っている。
	41	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・相談や申し入れについて、職員間で話し合い、丁寧に対応を行っている。周知に関しては、お知らせや毎月のおたよりでしている。 ・相談や申し入れについて、職員間で話し合い、丁寧に対応を行っているが、迅速に対応できるようにしていきたい。
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・毎月のおたよりや活動報告などを発行し、行事予定などを発信している。
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・入園時に個人情報の取り扱いについては「同意書」を頂いている。 ・取り扱いに関しては、施設保管を行っている。
	44	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・連絡ノートや送迎時、また、電話などを利用して連絡し連携している。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・行事開催時に地域の方を招待して参加頂いている。 ・園の活動を知ってもらう機会をもっと増やしていきたい。
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員には周知している。専門家による指導を受けている。 ・マニュアルは策定されているが、保護者への周知が今後の課題となる。
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・月1回の防災の訓練を行っている。地域の方への協力もお願いしている。また、自立支援協議会の防災部会へも出席。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・入園時に調査し、必要な場合は抗いれん剤などを預かり、園で保管している。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	○		・食物アレルギーについては、入園の時に調査し、除去食については保護者と連携を行っている。
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・ヒヤリハットの事例に関しては、職員会議などで話し合いを行っている。 ・ヒヤリハットとしての事例集は作成していないので、今後文章として作成し、残していきたい。
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・公的機関の開催する研修に参加する他、法人内でのチェックリストを活用して会議の中で話し合っている。
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか			

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:2019年2月13日

事業所名 つぼみ園

保護者等数(児童数)32人 回収数28人 割合87.5%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	5	1	1	自転車で遊んでいる児がぶつかりそう。	園庭の遊具設定や自転車の走る所を工夫した。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	23	4		1	年齢ごとのクラスがほしい。	集団療育の意義や職員研修等の機会を保護者に周知する。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	26	1		1		生活空間の構造化やバリアフリー化について、情報伝達等への配慮を丁寧に行っていきたい。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	28					
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画が作成されているか	28					
	⑥	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	28					
	⑦	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	27			1		・計画に沿った支援を行っていることについて、丁寧に周知していきたい。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	28					
	⑨	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	11	10	1	6		・保護者の希望を踏まえ今後検討をしていく。
保護者 への 説明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	27			1		・入園時の説明となり、他の説明と重なる事から、一段と丁寧な説明を行いたい。
	⑪	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか	25			2		・計画を示しながらの説明を行っている。より丁寧な説明を行いたい。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	28					
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていくか	28					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	27	1				・年間2回の発達相談やグループや個人懇談を実施。それぞれの保護者のニーズを知り、対応していきたい。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	24	3		1		・月1回の四役会議開催で連携を取る他、行事等への保護者参加の支援などを行っているが、今後、保護者のニーズを伺い対応していきたい。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	25	3				・保護者の相談や申入れに対する対応の体制を見直し、これから迅速かつ適切に対応していきたい。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	26	2				・毎月のおたよやその都度のお知らせの配布により情報を伝達している。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	28					・今年度からの実施。

	⑱	個人情報の取扱いに十分注意されているか	24			4		・個人情報の取り扱いに関しては、「同意書」の提出をお願いし、施錠での保管を行っている。
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	25	3				・月1回の訓練を行っている。マニュアル策定の周知の機会を持ちたい。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	28					
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	25	2		1		・日々の保育を丁寧に重ね、子どもたちが楽しいと実感できる園生活を保障したい。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	23	4		1	・もう少し先生たちと話す場所時間があるとうれしい。	・子どもたちを中心に置き、保護者と共に考え、今後の支援につなげていきたい。

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援・放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。